



お客さま

交通安全の取り組み

交通安全の啓発

危険運転撲滅プロジェクトを始動しました

当社と(株)エフエム大阪、阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)の4社共同で、わき見をし「ながら」の運転、スマートフォンを操作し「ながら」の運転、運転手の身勝手なあおり運転(イライラし「ながら」の運転)など、高速道路での交通事故につながる危険運転を撲滅し、交通事故ゼロをめざすべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT」を始動し、持続的な交通安全啓発活動に取り組んでいきます。



4社共同記者会見の様子

高速道路交通の管理

様々な機関・会社との連携ネットワークを構築しています

道路の安全と円滑な交通の確保を図るため、交通管理隊が高速道路を巡回しています。

交通管理隊が収集・把握した渋滞の状況や気象情報などは道路管制センターで集約し、情報板などを通してお客さまに発信しています。

また、路上障害物が発生した際は、緊急出動して排除にあたるほか、警察・消防と連携した事故対応、故障車に対する援助などを通じて、お客さまの快適なドライブをサポートしています。



落下物排除の状況

ヴォイス

Voice

隊員間の連携により、お客さまの安全と交通の確保に取り組んでいます

24時間、365日のパトロール業務を日勤・夜勤の交代制で実施しています。業務の内容は、パトロールカーに2人で乗車し、定期的に道路状況等を確認する道路巡回や落下物・事故・故障対応への緊急出動となります。

落下物排除作業では、1人が監視員として赤旗を用いてお客さまへの注意喚起と車両誘導を行い、もう1人の隊員が短時間で落下物の排除を行います。

危険と隣り合わせの作業ですが、日々の訓練に努め、お客さまが安全で安心してご利用いただける高速道路の実現に貢献していきたいと考えています。



西日本高速道路パトロール関西(株) 神戸基地 係長 山口 晃博 隊員 伊藤 梨奈 ※所属は、2020年5月時点のものです。

快適な高速道路空間の提供

交通渋滞の緩和

渋滞回避のための呼び掛けを行っています

ゴールデンウィーク・お盆・年末年始の交通混雑期に渋滞予測ガイドを製作し渋滞予測情報を公表するほか、「渋滞予測士」(渋滞予測を専門で行う社員)

がテレビ・ラジオ・新聞等に出演し、渋滞の傾向や渋滞回避のための分散利用について呼び掛けを行っています。



関西、中国、四国、九州地区の渋滞予測士4人



テレビ番組での予測情報の提供

道路交通情報の発信

情報の集約・発信基地としてお客さまの安全確保に努めています

道路管制センターでは、24時間365日体制で、交通事故や渋滞、異常気象など、安全運転に必要な情報を集約し、情報板やハイウェイ交通情報サイト「i-Highway」などを通じてお客さまに発信するとともに、交通管理隊への緊急出動命令や警察・消防への通報を行っています。



道路管制センター

アイハイウェイ西日本

24時間全国高速道路の道路交通情報を提供しています。



TOPICS 新型コロナウイルス感染症対策

当社グループは、新型コロナウイルスの感染防止・感染拡大防止に努め、円滑な物流の確保をはじめ、安全・安心な高速道路サービスの提供に取り組んでいます。

1. 料金所での対策

- ①マスクの着用、手洗い、うがい、手指の消毒
- ②執務室内のごまめな消毒、換気の徹底
- ③公共交通機関を利用しない通勤の奨励
- ④スタッフの体調確認の徹底
- ⑤体調不良者が発生した場合の執務室内の消毒の実施
- ⑥感染者等が発生した場合の運用方法の事前検討



2. SA・PAでの対策

- ①マスクの着用、手洗い、うがい、手指の消毒
- ②スタッフの体調確認の徹底
- ③消毒液の設置
- ④トイレ、店舗内の椅子及びテーブルの定期的な除菌
- ⑤店内の定期的な換気
- ⑥ソーシャルディスタンスの確保(トイレ、レジ待ち、飲食コーナー客席、シャワー待合室など)
- ⑦レジの飛沫防止シート等の設置



飛沫防止シート設置の様子

新型コロナウイルス対策に係るお客さまへのお願い

レジにお並びの際は、一定の間隔(2m程度)を空けていただきますようお願いいたします。



さらに、都道府県をまたぐ移動の自粛に関する取り組みとして、通行料金の休日割引を適用除外にするとともに、SA・PAでは、土曜・日曜を中心に、レストランやお土産コーナーの営業自粛を実施しました。また、お客さまにも手洗い、咳エチケット等感染防止策にご協力いただきました。



お客さま

魅力あふれる SA・PA づくり

魅力的な新メニューの開発 西日本が誇る魅力的なブランド肉を使用したメニューコンテストを開催



地域の食材や特色、食文化を活かしたオリジナルの「肉グルメ」をテーマに、SA・PAから全87品がエントリーし、お客さまがお食事された件数やプロの料理人・食の専門家による審査の結果、グランプリメニューが決定しました。これからも、地域の食材を活かし、お客さまにお喜びいただけるメニュー開発に取り組んでいきます。



本選大会の様子

《グランプリ》
中国自動車道 七塚原SA（上り線）
「ヒパゴンの玉手箱～比婆牛赤身肉ステーキ瀬戸内レモンソース～」
※期間限定メニュー



地域と連携した商品開発 高校生と協力して特産品を活用した商品開発により地域の魅力発信

滋賀県立安曇川高等学校では、滋賀県高島市の魅力を知っていただきたいという思いで、例年地元特産品を活用した商品開発に取り組まれており、この度、オリジナルスイーツや地元名物料理を共同開発しました。2019年11月から名神高速道路 菩提寺PA（上り線）ほかで販売を開始し、多くのお客さまからご好評いただいています。



安曇川高校の生徒の皆さん



高島市特産の「アドベリー（ポイセンベリー）」を使用

「アドベリードラ」菩提寺PA（上り線）、黒丸PA（上り線）



鶏肉なのに「とんちゃん丼」菩提寺PA（上り線）

高速道路周辺地域の皆さまも楽しめる場所 高速道路に乗らなくても店舗にお越しいただけます

75カ所のSA・PAにウェルカムゲートを設置し、一般道からのアクセスが可能になっています。2019年度は、宮崎自動車道山之口SAに新たなウェルカムゲートがオープンしました。近隣にお住まいのお客さ

まもお買い物やお食事、イベントなどでお楽しみいただき、さらには仕事や勉強、ミーティングで利用が可能なコワーキングスペースを設置し、高速道路が潜在的に持つ可能性創造に挑戦しています。



山之口SA賑わいキャンペーンの様子



山之口SAコワーキングスペース ※2021年3月末までの予定



山之口SAウェルカムゲート

地域連携の一環として人気観光施設とのコラボレーション 旅行の気分を盛り上げていただくキャンペーンを実施

和歌山県白浜町にある「アドベンチャーワールド」などの和歌山方面の人気観光施設への便利な交通アクセスである阪和自動車道の各サービスエリア（岸和田SA・紀ノ川SA）で、「阪和道はパンダがいっぱい」キャンペーンを実施しています。

フードコートやレストランのテーブルやイスにパン

ダのラッピングを施した「パンダシート」が登場するなど、様々なイベントを開催しています。



フードコートに設置したパンダシート



店舗内にパンダの足あとが登場



四国全県の動物園との連携企画「ぐるっとドライブまるごと四国動物園へ行こう！」も実施

旅に役立つ情報提供 海外のお客さまも安心です

訪日外国人の方がお困りの場合にも安心してご利用いただけるよう、2019年に多言語翻訳機を68カ所の休憩施設に導入しました。

ネット環境の充実

194カ所（2020年3月時点）のSA・PAでWi-Fiサービス「W-NEXCO Free Wi-Fi」を整備しています。2019年8月からフリーメールやSNSでの認証が可能となりました。



「W-NEXCO Free Wi-Fi」のサービスマーク



多言語翻訳機の利用の様子